



まめまめくん

デヴィッド・カリ／文
セバスチャン・ムーラン／絵
ふしみみさを／訳
あすなる書房(2016年)

学校へいくときふみつぶされそうでも、えんぴつがバットみたいに大きくても、ちっちゃいまめまめくんはなんでもできる。すてきなしごとだね！



うまれたよ！ホタル

中瀬潤／写真・文
岩崎書店(2016年)



夏のはじめ、小川でふわり、ひらりと光るホタル。たまごで生まれてから、大人のホタルになるまで、長い時間をかけて少しずつ大きくなっていくんだよ。



せなかのともだち

萩原弓佳／作 洞野志保／絵
PHP研究所(2016年)



おこりんぼうなハリネズミが、がけ下にいたいじのわるいヒツジのせなかにおちました。くっついた2ひきは、ほかのどうぶつの力をかりないと、はなれられません。



いわしくん

菅原たくや／作
文化出版局(1993年)

日本の海でうまれたいわしくん。およいでいたら、つかまって、船にのせられ港にはこぼれた。それからいわしくんは…。どうなった？



みてろよ！父ちゃん！！

くすのきしげのり／作
小泉るみ子／画
文溪堂(2016年)

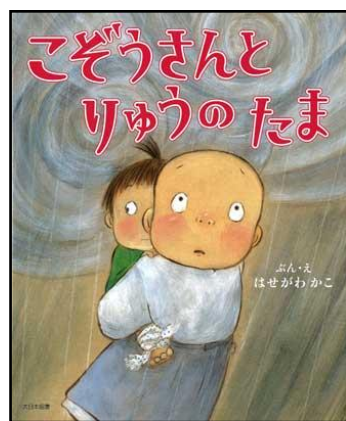
うんどうかいのときょうそうで、一ばんになれそうなアキヨシ。父ちゃんに見に来てほしいけれど、どうしてもしごとでこられない。そんな父ちゃんは…。



へっちゃんらトーマス

パット・ハッチンス／作
小宮由／訳
大日本図書(2016年)

字をおぼえようとしないトーマスに、ある日こまったことがおこりました。トイレをまちがったりエレベーターにのりまちがったり…。このままでいいのかな？



こぞうさんとりゅうのたま

はせがわかこ／ぶん・え
大日本図書(2010年)

なきむしのこぞうさんが、おつかいのかえりみちに、いわのすきまからぼうやをたすけました。するとびっくりすることがおきて…。



妖怪 いじわるひょうしき

土屋富士夫／作・絵
PHP研究所(2015年)

いそいで家に帰るひでくんの前に、ひょうしきが顔を出した。「近道していきなよ」って…。行き止まりのはずの道がつづいていたよ！通ってほしいよ？



小さな小さな七つのおはなし

リアン・ムーア／作
福本友美子／訳
高桑幸次／画
日本標準(2011年)

フクロウのホーホはものしりのおじいちゃんが大きい。ある日ホーホはおじいちゃんめがねをかけてみた。これでおじいちゃんみたいになれるかな？



とうだい

斉藤倫／文
小池アミイゴ／絵
福音館書店(2016年)

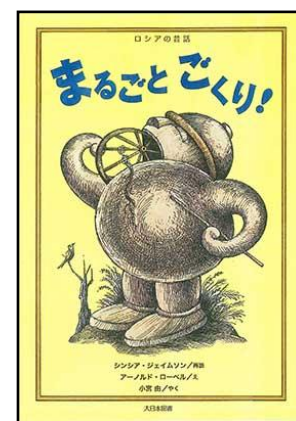
みさきにいっぼん、うまれたてのとうだいがたちました。くるくるぴかぴか——とうだいの光は、とおく海のむこうまでとどきます。ある夜、おそろしいあらしがやってきて…。



オムライスのたまご

森絵都／作
陣崎草子／絵
講談社(2016年)

たまごたちのゆめはオムライスになること！たまごのタマキは、そのゆめにむかってせかい—おいしいオムライスの店をめざします。



まるごとごくり！ロシアの昔話

シンシア・ジェイムソン／再話
アーノルド・ローベル／画
小宮由／訳
大日本図書(2016年)

土ぐうが「はらへった！はらへった！」とわめき出した！そして、つぎつぎに、いろいろなものをまるごとごくり。土ぐうは、なにをのみこんだのかな？